

第 25 回 PET 分子イメージングセミナー

酸化ストレスを標的とした新たな治療 — 新規抗酸化剤の開発 —

日時: 5月16日(木) 17:30 - 18:30

場所: 大阪大学医学部講義棟 2 階 B 講堂

演者: 小山 佳久 先生

大阪大学大学院 医学系研究科
神経細胞生物学 助教



呼吸等によって発生した有害な活性酸素種(ヒドロキシラジカル)は、DNA、タンパク質や脂質などを酸化し、生体に悪影響を及ぼす。一方、スーパーオキシドディスムターゼやカタラーゼなど活性酸素種を分解する抗酸化酵素が生体内にある。通常、生体内におけるヒドロキシラジカルと内在性抗酸化物質の作用の均衡は保たれているのだが、その均衡が崩壊することで生体障害を発生する。これを“酸化ストレス”という。酸化ストレスは炎症性疾患、神経変性疾患、代謝性疾患や虚血性疾患など様々な疾患の発症原因や増悪因子となり得るが、十分な治療法は開発されていない。

本講演では、我々が開発した新規抗酸化剤について、酸化ストレスが関与する様々な疾患モデル動物を用いた基礎研究の結果を中心に紹介する。

主催: 大阪大学大学院 医学系研究科 核医学、
附属未来医療イメージングセンター(TMIC)



Osaka University
Graduate School of Medicine

問い合わせ先:

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-2

06-6879-3800

info@pet.med.osaka-u.ac.jp